

収入7%減 政治資金報告書

26日に公開された2020年の政治資金収支報告書によると、自民党7派閥の収入

は計13億2149万円で、前年（計14億1907万円）と比べて約7%減った。最大の収入源としてきた政治資金パーティーでの減収が響いた。

昨年は各派閥ともホテルニューオータニや東京プリンスホテル、The Okura Tokyoのいずれかでパーティーを開いていて、総収入の8割強から6割弱を占める。

総収入では、二階俊博幹事長（当時）率いる二階派（志帥会）が2年連続の首位となつた。麻生太郎財務相（当時）の麻生派（志公会）が2位、岸田文雄首相が会長を務める岸田派（宏池政策研究会）が続いた。一方、先の衆院選後に安倍晋三元首相が会長に就いた最大派閥の細田派（清和政策研究会）は竹下派（平成研究会・現・茂木派）に抜かれ、19年の4位から5位に落ちた。政治資金パーティーの収入が19年より5千万円以上減ったことが要因。細田派は19年のパーティー収入も18年に比べて約5千万円減っていた。パーティー収入が総収入に占める割合も上位2派閥は約8割だが、細田派は7派閥で最も低い55%だった。

自民派閥響いたパーティー減収

▼1面参照

◆自民党7派閥の2020年の収入

- 1位 二階派 2億8536万円（3億305万円）
- 2位 麻生派 2億7181万円（2億8066万円）
- 3位 岸田派 2億5432万円（2億7495万円）
- 4位 竹下派 2億1685万円（2億332万円）
- 5位 細田派 1億8402万円（2億3933万円）
- 6位 石破派 6609万円（7416万円）
- 7位 石原派 4302万円（4359万円）

*（）内は19年の収入。
万円未満は切り捨て。本文中の合計額は全て合計した上で万円未満を切り捨てている。

（小泉浩樹）